

「災害に強い岡山市」 実現予算

～温かく魅力ある「住みやすい岡山市」 圏域を牽引する「力強い岡山市」～

平成31年度当初予算は、「災害に強い岡山市」実現予算として、特に「安全・安心」に最大限に配慮し、実効的な浸水対策などの予防対策と、地域の絆による自助・共助の強化に力を入れて編成しました。

また、健全財政を堅持しながら、「まちづくり」「子育て・教育」「健康・福祉」「産業・観光」の分野に資源を重点配分し、「住みやすさ」「力強さ」を兼ね備えた都市づくりを着実に進めます。

■平成31年度当初予算の概要

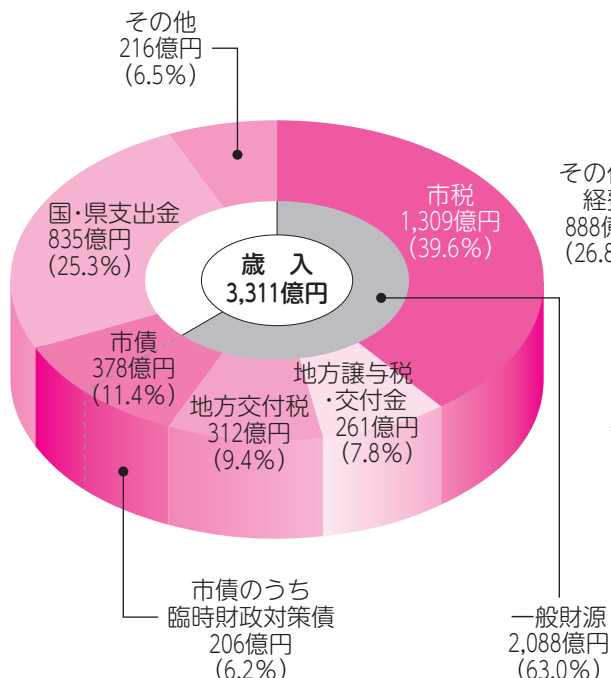
一般会計は、前年度と比べて139億円増の3,311億円と過去最大規模となっています。また、一般会計、特別会計、事業会計を合わせると5,901億円で、前年度と比べて4.0%増加しています。

■当初予算 前年度との比較

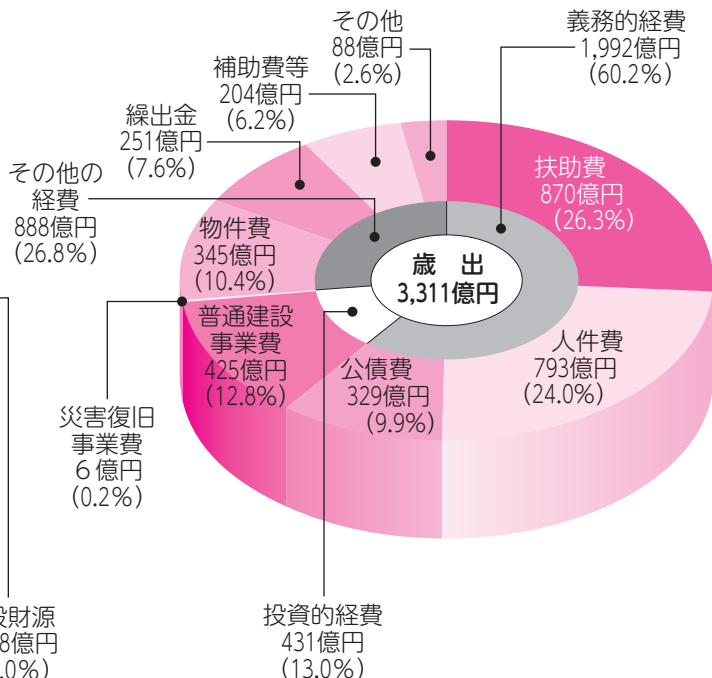
区分	平成30年度	平成31年度	対前年度比
一般会計	3,172億円	3,311億円	4.4%増
特別会計	1,788億円	1,833億円	2.5%増
事業会計	715億円	757億円	5.8%増
合計	5,675億円	5,901億円	4.0%増

■一般会計の内訳【()内は構成比】

歳入



歳出(性質別)



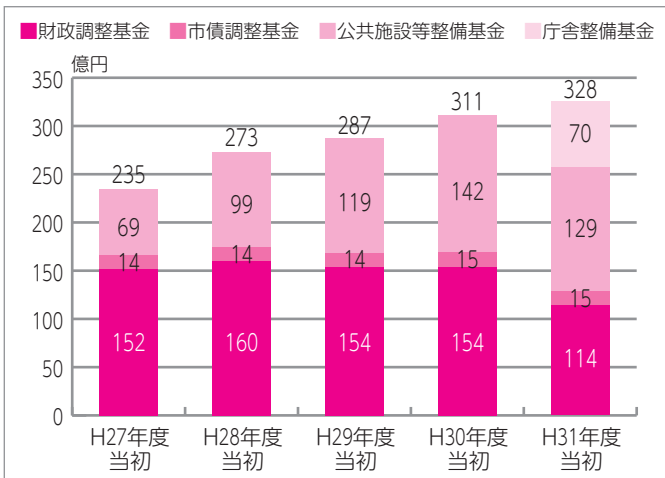
- ◆市税は、個人所得の伸びに伴う個人市民税の増加などにより、対前年度比で42億円増加しています。
- ◆地方交付税は、社会保障関係費に係る普通交付税の増加などにより、4億円増加しています。
- ◆国・県支出金は、幼児教育・保育の無償化に伴う国庫負担金の増加などにより、70億円増加しています。
- ◆市債は、岡山芸術創造劇場（仮称）の整備に伴う借入金の増加などにより、15億円増加しています。

- ◆扶助費は、子どものための教育・保育給付費の増加などにより、対前年度比で40億円増加しています。
- ◆普通建設事業費は、岡山芸術創造劇場（仮称）、市営住宅の整備費の増加などにより、48億円増加しています。
- ◆物件費は、電算システム更新費、選挙費、プレミアム商品券発行経費の増加などにより、18億円増加しています。

健全で持続可能な財政運営

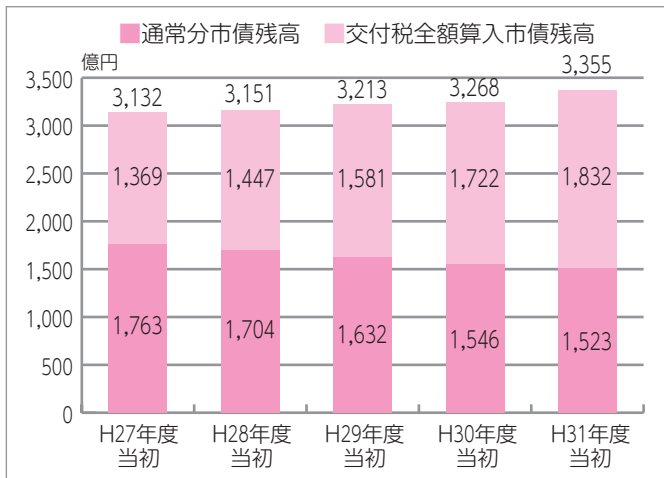
■財源調整のための基金残高の推移

財源調整のための基金と庁舎整備基金を合わせた基金残高は328億円となっており、前年度と比べて17億円の増加。



■一般会計市債残高の推移

一般会計の市債残高は、後年度に全額交付税算入される臨時財政対策債などにより増加。これらを除いた市債残高は毎年減少しており、1,523億円と前年度に比べ23億円の減少。



■平成31年度当初予算の特徴(主要な事業)

「防災・減災対策」

- ・新たな自主防災組織の結成促進・活動支援 3億4,400万円
- ・防災まちづくり学校、防災士養成講座の開催 340万円
- ・洪水・土砂災害ハザードマップの更新 2,360万円
- ・自主防災組織への緊急告知FMラジオの配布 1,020万円
- ・内水による浸水ハザードマップの更新 860万円
- ・止水板の設置助成 500万円
- ・笹ヶ瀬川西部地区のポンプ場整備 2,800万円
- ・浸水被害地区の排水対策 900万円
- ・河川の排水機場の機能評価、監視カメラの設置箇所検討 3,530万円
- ・農業施設の防災対策 (排水機場・ため池の安全対策等) 2億5,766万円

「健康・福祉」

- ・S I Bを活用した健康ポイント事業 9,707万円
- ・心身障害者医療費助成の対象拡大 1,820万円
- ・フレイル対策事業(高齢者の虚弱・介護予防) 490万円
- ・ユニバーサルタクシーの導入助成 300万円

「産業・観光」

- ・おかやま・スタートアップ支援事業 1,500万円
- ・稼ぐ力強化のための医療・福祉関連産業支援 500万円
- ・企業立地推進事業 3億3,950万円
- ・有害鳥獣による被害状況調査・対策 300万円

「まちづくり」

- ・桃太郎線LRT化 6,300万円
- ・路面電車の岡山駅前広場乗り入れ等 1億6,650万円
- ・県庁通りの道路空間再編や旭川を中心とした賑わいの拠点づくり 5億8,407万円
- ・岡山芸術創造劇場(仮称)の整備 20億8,628万円

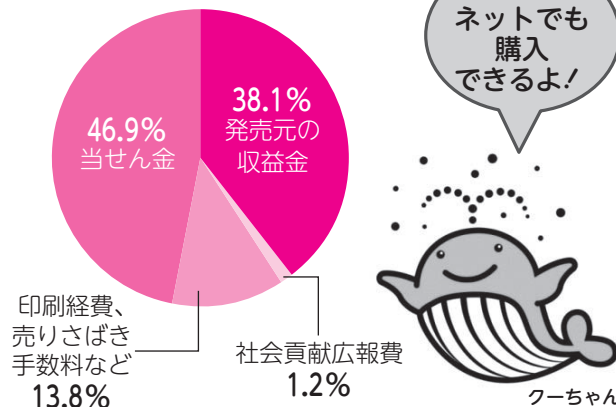
「子育て・教育」

- ・保育士宿舍借上げ支援 5,400万円
- ・新規採用保育士等に対する奨学金返済の支援 1,460万円
- ・民間保育士の処遇改善(給与上乘せ) 2億600万円
- ・放課後児童クラブの新たな運営体制準備 3,748万円
- ・教育支援ソフトの導入拡大(全小学校に導入) 1,507万円
- ・学校のICT環境整備(タブレット導入等) 5,736万円
- ・特別支援教育支援員の配置 2億9,678万円
- ・適応指導教室の移転整備(南区) 5,310万円

岡山県内で発売された宝くじの収益金の一部は、岡山市の収入になります。

収益金は、道路整備などの公共事業のほか、災害対策や豪雨災害からの復興、子育て支援など、市民の皆さんの暮らしに役立てられています。

ご存じですか？宝くじ1枚の中身



インターネットでも購入できるよ!



【2018宝くじのしおり】より